


業 種	航空
取組分野	社内情報伝達及びコミュニケーションの確保 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等
テ ー マ	各拠点等のグループリーダーが安全上の課題等を簡潔にまとめ、経営トップが参加するオンラインの会議体において、必ず発言する機会を与える取組の実施
取組の狙い	経営トップが参加するオンラインの会議体において、各拠点の管理職が安全上の課題を考え、簡潔にプレゼンテーションさせることで、中間管理者層の「伝える力」「気付く力」「報告する力」の向上を図る。
具体的内容	<p>1. 2種類の安全に関する会議体</p> <p>セントラルヘリコプターサービス株式会社は、各職場単位で開催される「職場安全推進会議」、経営トップ、部門長らが参加する「航空安全管理委員会」の2種類の安全に関する会議体がある。</p> <p style="text-align: center;">各拠点基地一覧</p>  <p style="text-align: right;">● 本社 ● ドクターヘリ基地：4 県 4 箇所 ● 防災ヘリ基地：3 県 3 箇所</p> <p style="text-align: right;">(2021 年 1 月末時点)</p> <p>2. 職場安全推進会の課題と見直し改善</p> <p>「職場安全推進会議」は、職場単位での安全に関する問題点を討議し、自部署で解決できない問題点について、上位の会議体である「航空安全管理委員会」に報告し解決を図るが、遠方拠点からの直接参加の機会は限定されていた。</p> <p>このため、更なる安全情報共有・コミュニケーション確保を目的に、2019年度より、本社会議と拠点等をオンラインで結ぶWEB会議体制を整えた。</p> <p>さらに、参加者増による会議時間延長を考慮し、予め報告を行うグループリーダーには、以下に留意した発表・発言を求める見直し改善を図った。</p>

	<p>① 「航空安全推進会議」で議論された議事録を簡潔に取りまとめ、限られた時間（発表1分/質疑応答2分）での報告。</p> <p>② 簡潔でわかりやすく伝える内容。</p>
取組の効果	<p>① 「航空安全管理委員会」の会議延長時間は徐々に減少、現在は計画とおりに会議は進行している。</p> <p>② 与えられた時間で発表・発言をするグループライダーの「伝える力」「報告する力」は向上したと考えられ、加えて発表者の声・姿を見ることは、本社⇄拠点間のみならず、拠点⇄拠点間においても細かなニュアンスに気が付きが得られ、他部署の安全活動の背景にも踏み込んだ情報共有がされている。</p> <p>③ 毎月実施される「社長ミーティング(経営トップとの面談)」にもWEB会議を導入、年2回の現場懇談会以外に直接現場からの意見収集の機会を年12回に増やしたことにより、多くの課題や問題点を共有出来たと考えている。</p>
事業者名	セントラルヘリコプターサービス株式会社 航空安全管理委員会 (連絡先：0568-39-1191)